=-=-=-

■トピックス：世界遺産登録となった富士山

昨年6月、富士山は、“信仰の対象と芸術の源泉”として世界文化遺産に登録されました。
巻頭の富士山の写真は、千円札裏面の絵と同じアングルで本栖湖で撮影したものです。

富士山の北に位置する八ヶ岳に関する昔話によると、かつて、八ヶ岳と富士山が背丈比べをしたが、富士山が負けて、“悔しさのあまり八ヶ岳の頭を蹴って砕いてしまった”とのこと。
八ヶ岳の裾野の大きさからすると、この説も満更嘘ではないような気にもなりますが、勿論これは富士山に敵わぬ八ヶ岳側の立場での作り話でしょう。

一方で、東京都小笠原西之島近くで新島が誕生しました。火山噴火活動が続き、西之島と陸続きになって、スヌーピーの形に似ているとネットで噂が広まりました。（写真引用：http://image.search.yahoo.co.jp/）
島の標高は30mにも満たないようですが、周辺の海は3000m以上の深さがあり、海底から見ると巨大な山塊となっているはずです。
さらに、小笠原周辺では、最大体積を誇る北硫黄島が3，338立方kmで、富士山の548立方kmと比較して、その山容ははるかに巨大なものといえるでしょう。しかし、海の底からこの山を眺めることも出来ず、拝む人もいません。

富士山は日本最高峰として、そして独立峰で秀麗な形をした山として崇められてきました。昔から、詩歌の題材となり、絵画の対象ともなった富士山は、現在でも登山者をはじめ、遠くから眺める人も含めて、多くの人達を魅了する山となっています。
霊験あらたかな山容は、富士宮にある「富士山本宮浅間大社」をはじめとして、各地の富士山信仰の対象となっています。特にこの正月は例年よりも多くの参拝客で賑ったようでした。
最初は、世界自然遺産としての登録を目指していましたが、ごみ問題など、人的な不都合から見送られてきました。文化遺産としての富士山ですが、信仰や芸術といった人の心のよりどころや発露のみならず、行動面においても充分に気をつけて、大切に守っていくことが求められます。

■事務局から

（1） 2月4日（火）に「警視庁本部見学と新春懇親会」を開催します。昨年末にご案内をしたところ、皆様からの反応が早く、一週間ほどで定員40名に達してしまいました。
後から申込みをしていただいた方には申し訳ありません。キャンセル待ちの形でお待ちいただくことになりました。

今後、本部企画として、昨年に続き「ジャズを学ぼうPart2」を7月6日に予定しています。詳細が決まり次第ご案内いたします。参加受付けはその後となりますのでご了承ください。
支部主催の行事も、それぞれに企画が決まり次第ご案内いたしますので、ご期待ください。

（2） 昨年の世相を表す漢字は（輪）でした。新年を迎え、JAM地方組織の新春懇談会や、賀詞交換会など各地で開催されます。 JVCシニアクラブ各支部の活動の中で、そのような上部組織の行事にも、各会員の積極的な参加をお願いいたします。
そのような場を通して、JVCの仲間だけではなく、広く仲間の輪を広げていきましょう。

事務局長　田代　周